優秀賞

学校教育の場に火災予防を！デジタル教材「えみり先生の防火教室」

岐阜県　岐阜市消防本部

事例類型	Ⅰ 実効性向上　Ⅳ 他団体との連携　Ⅵ 広報活動　Ⅶ デジタル化
取組期間	令和5年11月から

背　景

近年、製品における防火安全性能の向上や住宅防火機器の普及などにより、火災件数は全国的に減少傾向にある。火災の減少は消防行政にとってこの上ない喜びであるが、その一方で、人々の火災への危機感が希薄となり、ひとたび発生すれば甚大な被害が及ぶことが懸念される。火災予防の思想をいかに次世代に繋いでいくかは、我々消防に課せられた新たな課題であるといえる。

子供の時に見た印象深い映像は、大人になっても記憶に残っていることが多い。当本部は感受性の強い小中学生を対象に火災予防の普及啓発を図り、将来的な火災予防にも繋げたいとの思いから、学校教育の場で活用されているタブレット端末を媒体とした火災予防広報資料の制作に着手した。

内　容

広報資料は子供たちの興味を引くこと、記憶に残してもらえることに重きを置いて、以下を反映させた動画とした。

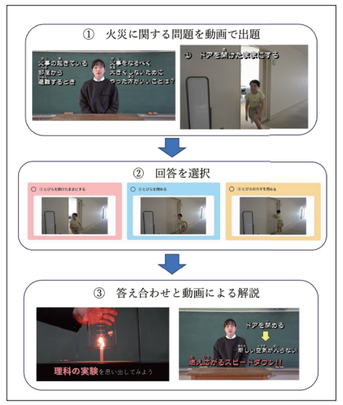
- 楽しんで取り組めるように、クイズ形式で構成
- 小学校の理科で習う「物の温まり方」「燃焼のしくみ」の実験を引用し、学校教育と火災予防を紐づけ、よりイメージしやすくする
- 授業（1コマ45分）で活用してもらうことを想定し、動画時間は30分程度
- 教室のスクリーンに映して授業形式で行う「授業用」と個人のタブレットで自主的に行う「個人用」との2パターンを作成し、活用の幅を広げる
- 低学年にも理解できるよう、イラストや図を多く挿入し、全編に読み仮名入りのテロップを設ける

動画の出演者は、あえて消防職員以外でキャスティングし、ソフトな印象を持たせるようにした。子役には少年消防クラブ員、メインキャストには県内の小学校で教員を務める「恵美梨先生」に出演を依頼した。この先生は学生時代、子供向けの防火教育について研究されており、そこに消防本部が技術協力した縁があった。今回のクイズには研究成果を踏まえたものも多くあり、出演についても快諾をいただいた。

シナリオの作成、動画の撮影や編集、イラストの作画などは各分野を得意とする職員で分担した。いずれも専門業者への委託は行わず、設備や器具は既存のものを活用したため、経費をかけずに進めることができた。

約1年の制作期間を経て、デジタル教材「えみり先生の防火教室」が完成した。えみり先生が、「火事を発見した時、何番に電話すればよいのか。」「119番通報時に何を伝えればよいのか。」「電気による火事はどのようにして起こるのか。」「消火器の使用手順」など合計10問のクイズを出題する。子供たちは自身のタブレットで選択肢から回答し、答え合わせと解説動画に進む。特にこだわったのは、クイズの解説部分である。単なる答え合わせではなく、なぜその答えなのかを学校教育や日常生活と紐づけて、理解しやすいように構成した。例えば、避難のときに火元の扉を閉めることや姿勢を低くすることの理由をろうそくとビーカーを用いた理科の実験映像を用いて解説したり、きつく束ねたコードから出火する様子を再現実験の映像で示したりして、より子供たちがイメージしやすいようにした。

令和6年11月、管内106の小中学校、特別支援学校に通う子供たちのタブレット端末へ配信を開始した。管内4市1町の各教育委員会の協力により、学校で日常的に使われている学習用ツール「ロイロノート」を経由して行い、子供たちが手軽にアクセスできるようにした。さらに、配信に併せてPRポスターを各学校の校舎内に掲示してもらい、子供たちの積極的な利用を促した。



教材の構成

PRポスター

成　果

配信を開始して以降、多くの子供たちに挑戦してもらっている。校内活動に取り入れた小学校もあり、教室のスクリーンに映し出したり個人のタブレットで取り組んだりと、学習環境に応じた方法で教材を活用してもらった。単なる動画資料ではなくクイズ形式としたことが功を奏し、子供たちは終始真剣な目で取り組んでいた。

アンケート調査を実施したところ9割以上の児童が「火災についての理解が深まった。」「わかりやすかった。」と回答した。また自由記入欄には、「クイズが楽しかった。」「理科の実験がわかりやすかった。」との意見が非常に多かった。

また、動画を視聴して疑問に思ったことは、ロイロノート内に設けたアンケートフォームからいつでも質問することが可能で、「火事が起こりやすい季節はいつか。」「家の中で火事が起きやすい場所はどこか。」などの質問が多数寄せられている。質問への回答をQ&A資料として随時アップロードし、さらに知識を深めてもらえるようにしている。

特記事項

今後の展望

火災予防広報を視聴者参加型の動画形式にしたことで受け取る側の関心度が高まり、なおかつ、学校教育や日常生活に紐づけて広報を行ったことで理解度が大きく上がった。現在、動画を市公式YouTubeチャンネルにアップし、より多くの人に閲覧してもらえるようにしている。また、更なる取組として、第2弾、第3弾などとシリーズ化していくことを検討している。

岐阜市公式
YouTubeチャンネル